

2017年からの認定資格についてのQ&A

第27回(2017年1月)から「専門職能力開発プログラム」(第85回総会平成26年5月承認)にのっとり改訂された「ヘルスサイエンス情報専門員認定資格規程」(2016年10月1日施行予定)に基づいて認定審査が行われます。この規程における認定資格について、疑問にお答えします。

Q1 基礎資格を申請する予定です。何が変わりますか？

これまでの基礎資格申請の必須要件であった基礎研修会や研究会＋継続コースの修了に代わるものとして、2016年に始まるJMLAコア研修の修了が必須要件となります。また、倫理綱領に対する宣誓の署名が加わります。この2点以外はこれまでと変わりません。

ただし、第27回(2017年1月)から第31回(2019年1月)までの認定審査では、移行措置として、JMLAコア研修を修了していない場合でも、これまでの基礎研修会、または研究会＋継続コースを修了していれば、JMLAコア研修に代えて認められます。

Q2 現在の資格はどうなるのですか？

基礎資格は永年資格ですから、そのまま保持できます。中級、または上級資格をお持ちの方は、資格有効期間内は、そのまま保持できますが、更新する場合には、改訂規程にあるそれぞれの認定要件を満たすことが必要となります。

Q3 更新、または上位級への申請を予定しています。何が変わりますか

次の点が変わります。

- 1 倫理綱領に対する宣誓署名の提出
- 2 モデル活動に関する申告
- 3 英語レベルの証明書の提出
- 4 専門職団体での活動ポイントの加重

Q4 倫理綱領に対する宣誓の署名の提出とはどのようなものですか？

申請書類の中にある倫理綱領の書類をご覧ください、倫理綱領に対する宣誓をします。その証として書類に署名をし、他の申請書類とともに提出していただきます。

Q5 モデル活動に関する申告とはどのようなものですか？

専門職能力開発プログラム最終報告書(提案)資料3[※])に提示されている活動について、活動実績や実践を文章化して申告します。就職活動におけるエントリーシートやハローワークのホームページにある職務履歴書の書き方などが参考にできます。なお、モデル活動の記述に代えて、相当する資格で申告することもできますが、その場合は証明書が必要です(例、ITパスポート資格など)。

※) JMLA 専門職能力開発委員会編. “専門職能力開発プログラム最終報告書(提案).”

日本医学図書館協会. <http://plaza.umin.ac.jp/~jmla/pro/senmon.pdf>(参照 2015-04-17)

Q6 ポイント申告とモデル活動に関する申告の違いは何でしょうか。

ポイント申告は業績を中心に活動を数値化して申告するもので、モデル活動に関する申告は実績や実践内容を具体的に文章化して申告するものです。

例えば、「研究会で発表した」はポイント表Ⅳ「業績 会議(学会・研究会)への参加」に示されたポイントを申告します。また「研究会で発表した」ことは、専門職能力開発プログラム最終報告書(提案)資料3「モデル活動」における「研究開発カテゴリー」の「調査研究」のモデル活動実績ともなります。調査研究の内容や結果、およびどのように発表したかを文章化し、モデル活動の申告書類を作成してください。なお、モデル活動のレベルⅠ(1単位)とⅡ(2単位)は研究の内容、発表集会の違いによります。

このように、ポイント申告とモデル活動に関する申告は、重なる内容を扱う場合もあります。繰り返しますが、モデル活動に関する申告は、その実績や実践を文章化するところとポイント申告と異なります。

Q7 英語レベルの証明とはどういうものですか。

英語の検定試験等を受験して得られるスコアや資格が指定されたレベル以上であること示す認定証、または資格の証明書を提出していただきます。認定証、または資格の取得時期は問いません。書類はコピーでもかまいません。

Q8 英語レベルの証明にはどのようなものがあるでしょうか。

原則として、TOEIC、TOEFL、IELTS、Cambridge 英語検定、日本英語検定協会検定(英検)を対象とします。中級は TOEIC スコアの 540 以上、上級は 730 以上とします。また、TOEIC スコアとの換算は次の表のとおりとします。

TOEIC	TOEFL iBT	TOEFL	IELTS	Cambridge	英検
730	79	213	5.5	FCE	準1級
540	56	160	4.5	PET	2級

http://www.toeic.or.jp/library/toeic_data/toeic/pdf/data_TOEIC-STEP_2001.pdf

<http://www.conversation.jp/faq/faq-english/TOEIC-TOEFL.html>

Q9 英語レベルの証明はいつのものが必要でしょうか。

申請時まで取得したスコア、または資格が対象となります。新制度で中級、または上級の最初の申請の際に提出してください。その後、更新認定申請の度に検定を受ける必要はありません。

Q10 専門職団体での活動ポイントはどのくらい増加するのでしょうか。

認定に必要な全体としてのポイント数は現行制度と変更はありません。しかし、中級、または上級を申請する時は、専門職団体での活動ポイントの比重が増えます。

【中級】現行より5ポイント増えて、10ポイント以上が必要になります。

【上級】現行より10ポイント増えて20ポイント以上になります。また、20ポイント以上の中に、JMLAに関する活動が5ポイント以上含まれることが要件として加わります。

以上